

のっぽの手

発行
ふくしまNPOネットワークセンター
〒960-8034
福島市置賜町1-29 佐平ビル8F
TEL024(528)1211 FAX(528)1218

豊かな生活とコミュニティ

物が豊かになり、交通・通信手段が発達して今の日本社会は物質的な豊かさと利便性の良さを謳歌していると感じます。しかし、その一方では失ってしまったものがあり、「心の豊かさ」や「人間性の回復」といった言葉でよく言われるようになりました。

物の豊かさによって、個人や家族の生活はあるレベルで満たされて、その視線は経済的側面での今ある生活の維持や向上に注がれ、地域の中で生きている自分、生活の基盤としてのマチを意識することはありません。しかし、時間とお金さえあれば簡単に海外に行けるし、インターネットでいくらでも世界中の情報を知ることができると言つても、自分の足で歩いている身の回りの地域や人々との関係を無視して、本当に人間らしい生活ができるのでしょうか。

国の施策としてコミュニティが舞台に登場したのは、1969年国民生活審議会調査部会コミュニティ問題小委員会の中間報告「コミュニティ一生活の場における人間性の回復」が最初だそうです。その中で、「生活の場において、市民として自主性と責任を自覚した個人および家庭を構成主体として、地域性と各種の共通目標をもった、開放的でしかも構成員相互に信頼感のある集団を、われわれはコミュニティと呼ぶことにしよう」と、コミュニティの概念が定義され、以来32年の間、日本各地でコミュニティ形成のための様々な方策が採られています。

今あるコミュニティ活動の核として、町内会・自治会、老人クラブ、子供会、消防団などが

ありますが、たとえば町内会・自治会は、多様な住民構成と価値観による運営の困難さやその機能性の点で、コミュニティ形成の主役とはなっていないのが実際です。

私事ですが、私は分譲マンションに住んでおり、年に一回は区分所有者の総会があるのですが、ここ数年その総会の出席者は全体の三分の一にも満たない状況になってきていて、ひとつのマンションの中でのコミュニティでさえ、生み出すのは難しいのだろうかと考えてしまいます。

コミュニティは決して行政によって作り出されるものではなく、人が本当に豊かな生活をするために、市民として自主性と責任を自覚した共通の意識を持った人々によって形作られていくのではないでしょうか。そこにNPOを含めた市民活動が大きな意味を持つことは、今さら言うまでもありません。

去る9月1日に開催された「ふくしまNPO市民フォーラムー地域コミュニティの再生とNPOの役割」では、県内各地からの大勢の市民の参加を得てコミュニティ再生を実現しつつある神戸市の実例の紹介も含めて、意義ある議論・交流が展開されました。これを契機として、コミュニティの更なる活性化のために、当NPOセンターをはじめ、福島県内のNPO法人・市民活動団体等の今後の活動が期待されます。

早川哲郎
(ふくしまNPOネットワークセンター理事/
早川事務所代表)

NPO法人 訪問美容サービスセンターを訪問して

訪問美容サービスセンターは、入院患者や施設入居者、在宅療養患者の方を対象として、美容師・理容師の方から病院や施設また療養しているお宅を訪問し美容・理容のサービスを提供することを目的として平成12年11月に法人格を取得したNPOです。

理事長である円谷恵美子氏はもともと白河市においてエステティックをしていましたが、“老人に対し生きる望みを”と考え、神戸市のNPOをモデルに立ち上げました。

私も今まで母や自分の仕事を通し、大勢の高齢者や病気の老人を見てきました。たとえ年をとっても、病気でもいつまでも“キレイ”にしてみたい、という願望はあるのです。髪型を自分の好きなように整えることによって、自分に自信が持て、更には快適な生活を送ることにもなり、心身のケアにつながり、生きる望みを与える事になるのです。

訪問美容サービスセンターは、単なる理美容師だけではなく、高齢者や患者さんの話し相手になることで、心のケアにも気を配っているのです。



私は7月3日訪問美容サービスさんが、白河市の特別養護老人ホーム「小峰苑」を訪問するというので、同行させていただきました。「小峰苑」ではデイサービスセンターーやケアハウス等の施設もある福祉センターです。この日は、デイサービスセンター利用者と老人ホーム入居者から一人ずつそれぞれ理容・美容の予約がありました。予約をしていた高齢者は男性1名、女性1名でした。2人は理・

美容師さんが来るのを心待ちしていました。早速カットが始まると美容サービスを受けていたおばあさんは、「今日は息子がキレイになってきてねって言って送ってくれたんだ」と嬉しそうに話していました。カット・シャンプーが済むとそれぞれセンターへ戻っていましたが、本当に身も心もリフレッシュしたようでした。



高齢者の介護は、投薬だけではなく心のふれあいが特に大切であることは言うまでもありません。「キレイになった！」と認めてあげることも高齢者の生きる自信につながります。訪問美容サービスさんの活動はまさしく高齢者に生きる喜びを与えていたな、と感じました。

取材 星野 雅子



NPO法人 訪問美容サービスセンター

白河市明戸 193-2

TEL 0248-23-0039

ふくしまNPOネットワークセンター活動報告

6/30 第2回総会

- 「2000年度事業報告・収支決算」及び「2001年度事業計画・収支予算」承認。
- 新役員決まる。一次の方々が2001年度の新役員に選任されました。

代表理事	斎藤 實	ふくしま地域づくりの会	理事	中井勝巳	福島大学行政社会学部教授
"	佐藤和子	まちの和研究所	"	初澤敏生	福島大学教育学部助教授
"	星野珙二	福島大学経済学部教授	"	早川哲郎	早川事務所
常務理事	加藤節子	日本助産婦会福島支部	"	林 克重	タカラ印刷株式会社
"	佐藤昇司	北土社	監事	高橋郁夫	弁護士
理事	遠藤哲哉	福島県自治研修センター	"	山川充夫	福島大学経済学部教授
"	須田弘子	NPO法人まごころサービス福島センター			

- 一周年記念講演開催

「地域通貨とまちづくり」

講師 村山和彦氏 (NPO 法人千葉まちづくりサポートセンター副代表)

7/15 第11回福島 NPO 研究会「いまなぜエコマネーか?」

ゲスト: 加藤敏春氏 (経済産業省・エコマネーの仕掛け人)

8/23 第12回福島 NPO 研究会「NPO 全国フォーラム21東海会議に参加して」

報告者: 松田英明氏 (当センター会員)

9/1 ふくしま NPO 市民フォーラム PART II 開催

- 基調講演「地域再生に、今、何が必要なのか?」

講 師: 中村順子氏 (NPO 法人コミュニティ・サポートセンター神戸代表)

- 第1分科会 コミュニティ再生のためにNPOの果たす役割とは何か?

- 第2分科会 企業は地域づくりに何ができるのか?

- 第3分科会 地域通貨はまちづくりの切り札になるのか?

10/26 第13回福島 NPO 研究会「いわきテレワークセンターの活動について」

ゲスト: 会田和子氏 (株式会社いわきテレワークセンター代表)

11/4 県北地区 NPO懇談会

(第5回どうすっぷふくしま博覧会企画参加)

NPO運営Q & A

Q.

NPO 法人が受け取った寄付金の課税関係と処理の方法は?

A.

NPO 法人が収益事業を営んでいる場合、収益事業部門において受け入れた寄付金は受贈益として、その収益事業から生じた所得と合算されて、法人税、住民税、事業税が課税されます。

収益事業を営んでいないNPO 法人が受け入れた寄付金については法人税などが課税されることはありません。ただし、特別の場合には相続税又は贈与税が課税されることがあります。

経理処理としては、領収書の発行だけで最低限のことはOKですが、寄付台帳のようなものを作成しておくと何かと便利です。寄付台帳に記載する事項としては次のような項目が考えられます。

寄付台帳の項目

受け入れ何月日

金額 (および現金、振り込み、小切手などの区別)

寄付者氏名 (および法人、個人の区別、匿名希望の有無)

寄付者住所 (および電話番号その他連絡先)

紹介者

領収書の発行の有無

ふくしまNPOネットワークセンターからのお知らせ

21世紀の幕開け 西暦2001年「ボランティア国際年」記念講演会

講 師: 中田 武仁氏(国連ボランティア名誉大使)

と き: 12月15日(土)・16日(日)午後1時~

と こ ろ: 二本松・福島県男女共生センター

フォーラム 「21世紀型のコミュニティを考える」

と き: 11月9日(金)午前11時~

と こ ろ: 福島県文化センター 小ホール

主催: 福島県・(財)ふくしま自治研修センター

ふくしまNPOネットワークセンターの本

- 市民・行政・企業の協働社会をめざして(頒価500円)
- 福島県における市民活動団体実態調査報告書(頒価500円)
- NPOと行政との連携~新しい市民社会をめざした宮城県の挑戦~
樋口美智子著・当センター編集(頒価500円)
- 情報ネットワーク・WEB戦略~アメリカのNPO最新動向~
遠藤 哲哉著・当センター編集(頒価200円)

※当センターまでお申ください。(送料別)

★ 賛助会員 (2001年10月31日現在) ★

六陽印刷・タカラ印刷・東邦銀行

福島信用金庫・ラジオ福島

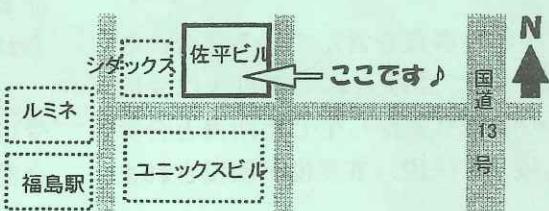
NTT(株)福島支店

会員募集中
ふくしまNPOネットワークセンターでは、
月833円で私たちの未来を開く活動を
展開しております。どなたでも参加できます。
正会員 年会費 10,000円
準会員 " 5,000円
賛助会員 " 50,000円
(たまに飲み会もありまぁ~す!)

編集後記

このところ、いろいろなイベント続きで、それに関連した会議も多く、少々疲れぎみです。まず最初に言い訳をしておいて、「のっぽの手」第4号の発行が大変遅れてしまったことを深くお詫び申し上げます。(S.S.)

今回初めて「のっぽの手」編集に関わりました。少ない紙面で充実した内容に仕上げるのは、難しいものです。何か掲載して欲しいものがありましたら、ご意見をお寄せください。(T.H.)



ふくしまNPOネットワークセンター 事務局

〒960-8034 福島市置賜町1-29 佐平ビル 8F

TEL 024-528-1211 FAX 024-528-1218

ホームページ: <http://www.f-npo.jp/>

Eメール: center@f-npo.jp